

市事議第170号
平成23年12月6日

京都市会議長 井上与一郎 様

市会改革推進委員会
委員長 田中 英之

市会改革推進委員会報告書

この度、市会改革推進委員会では、下記の項目について、別添のとおり検討結果を取りまとめましたので、御報告いたします。

記

◎ 議会の新たな情報発信

平成23年12月
市会改革推進委員会

市会改革推進委員会における協議結果について

平成23年11月17日（第7回）の委員会において、開かれた市会（市民に身近な市会）の観点から検討する個別項目についての協議を行った結果、以下のようによまとまった。

◎ 議会の新たな情報発信

【検討趣旨】

新たな手法を用いた情報発信について検討する。

（市バス・地下鉄の車内広告、市政広報板へのポスター掲出）

【委員の主な意見】

・人目を引くことで市民の議会に対する関心を高めることが、ホームページのアクセスや議会傍聴の増加につながるため、前向きに検討すべきである。あわせて、広告を出す以上は市会だよりや議会の内容が充実するよう、議会としてより一層自覚して取り組んでいく必要がある。

・議会がいつ開かれるかという事前の告知は、費用の問題ではなくて必要なことであり、積極的に取り組むべきである。

・車内広告と市政広報板へのポスター掲出両方だとお金が掛かるので、試しに安い方のポスター掲出から実施してはどうか。

・少しでも議会への関心が高まるのであれば、一回試しにやってみてはどうか。

・目的としては共感し必要性も感じるが、非常にコストが掛かることから、もう少し別の手法を考えた方がいいのではないか。

・広報物を手作りしたり、議員それぞれがポスター掲出を市政広報板以外に依頼するなどによって、お金を掛けずに実施することも可能ではないか。

・実験的にやってみるというのも一つだが、その前に議会の情報発信ツールとして一番大きい市会だよりを見直して、読んでもらえる努力をしてから議論をしてもいいのではないか。

【委員会での結論】

本件については、前向きに取り組んでいく方向で進めていただきたい。詳細については、議運での協議に委ねる。